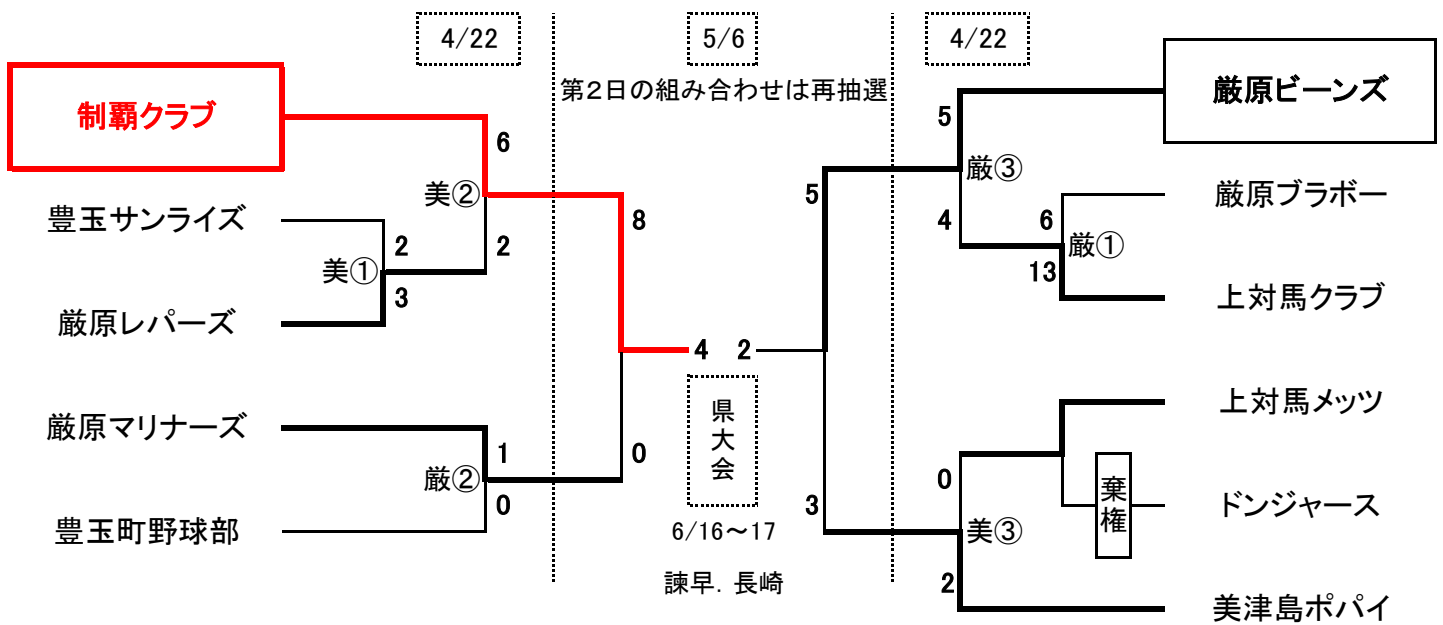


天皇賜杯 第67回全日本軟式野球 対馬予選会

第1日 4月22日(厳原/美津島)

第2日 5月6日(豊玉野球場)



※第1日は明け方まで降雨。両会場とも除水作業により試合を開始した。

美①【一回戦】9:50～1時間30分

厳原レパーズ	012 000 0	3	【二】木屋
豊玉サンライズ	000 010 1	2	

レパーズは3投手に対し10四球を得、5安打しながらも残塁11の3得点で1点差の辛勝。初回に2四球1安打の一死満塁を逸した二回二死後に四球の扇が二進し一宮の左前打で先制。三回には先頭の木屋が左中間二塁打。牽制悪送球で三進し内山の適時打。更に林田の安打と四球の満塁に一宮が選んで押し出し。四回以降も代わった2投手から4四球を得、敵失走者も出したが効果打なく追加点が奪えなかった。

対するサンライズは二回に先頭が安打も併殺。四回にも連打の二三塁に左飛。本塁を突いた築城が憤死し併殺。五回一死後に井上から3連打で1点を返し、最終の七回に阿比留、井上の連打に永留の犠飛で1点差としたが反撃もここまで。

【厳原レパーズ】打安点球

⑥ 一宮 努	2 1 2 2
④ 志賀 慶二	2 0 0 2
②⑦ 阿比留新吾	2 0 0 1
⑧ 木屋 勝也	3 2 0 1
⑤ 内山 歩	3 1 1 0
① 林田 芳和	3 1 0 1
③ 豊田 充	4 0 0 0
⑨ 手束 修二	1 0 0 0
2 松尾 吉範	2 0 0 0
⑦⑨ 扇 裕二	0 0 0 3
犠3振5残11併2	22 5 3 10

【豊玉サンライズ】打安点球

⑧ 沢村 望	3 0 0 0
⑤ 築城 公則	3 1 0 0
⑦⑬ 波多野健一	3 1 0 0
⑫ 津屋 敏彦	3 1 0 0
②⑦ 阿比留寿也	3 1 0 0
⑥ 井上 誠一	3 2 0 0
③① 石丸 誠生	3 1 0 0
④ 永留 佳祐	2 1 2 0
⑨ 松井 直輝	2 0 0 0
犠1振4残3併1	25 8 2 0

【審判】小島一輝ほか美津島ポパイ4名

厳①【一回戦】10:14～1時間47分

上対馬クラブ	302 001 7	13	【三】神宮仁、大浦
厳原ブラボー	010 311 0	6	【二】神宮仁、梅野、大浦、小宮 浅野、古川

6-6同点の七回、上対馬は先頭の辻が安打。梅野も続き小宮の左越え二塁打で1点。大浦の右越え三塁打で2点。二死後に板井の適時打に敵失や暴投で加点し十人目の辻の適時打で7点差とした。前半は上対馬ペース。初回は3敵失に恵まれ神宮仁の2点二塁打などで幸先の3点。三回は敵失を間に梅野、神宮の長打で加点。六回一死二三塁は板井の二塁打で6点目を挙げた。

追う厳原は二回、二死三塁に浅野の右中間二塁打。四回には四球の無死三塁に戸井の左犠飛。二塁打の古川を阿比留が左前に弾いて還すと浅野も適時打し1点差。五回には敵失走者が二盗と連続暴投で同点とした。六回には四球の二死三塁に多田の安打で再び並んだが、七回に上対馬の猛攻に遭った。

【上対馬クラブ】打安点球

⑤ 武末 太	4 0 0 1
③ 辻 将司	5 2 1 0
⑥① 梅野 英和	5 2 0 0
⑦ 小宮 憲司	4 1 1 0
⑧ 大浦 英悟	4 2 2 0
② 神宮 仁	4 3 3 0
④⑥ 武末 修一	4 0 0 0
⑨④ 板井 俊哉	4 2 2 0
①⑨ 平出 大輔	4 1 0 0
犠0振3残5併0	38 13 9 1

【厳原ブラボー】打安点球

③ 江口 豊隆	3 0 0 1
⑥ 小島 亮一	4 0 0 0
② 神宮 保夫	3 0 0 1
① 戸井 寛司	2 0 1 1
⑧ 古川 優樹	2 1 0 1
⑦ 原口 大輔	2 0 1 1
⑤ 阿比留竜馬	3 1 0 0
⑨ 浅野竜一郎	3 2 2 0
④ 小島 綾	1 0 0 0
H4 多田 智樹	2 1 1 0
犠1振1残4併0	25 5 5 5

【審判】高松宏貴ほか厳原ビーンズ4名

美②【二回戦】11:58～1時間17分

巖原レパーズ	000 110 0	2
制覇クラブ	101 121 X	6

【本】日下部智、小宮

【二】扇、高原

初回に先頭から連続死四球の一死二三塁に三槻の遊ゴロ失で先制の制覇は三回無死二塁に須川の適時打で加点すると四回は日下部智が左越え本塁打。五回にも先頭の扇が代わった木屋を捕らえ左へオーバーフェンス。須川の安打と投ゴロ野選の一死二塁に敵失を得、この回2点。六回には林田に対して四球後に高原の左二塁打で6点目を挙げた。

対するレパーズは初回二死後に扇の二塁打を活かせず、四回二死二三塁に内野ゴロ失で1点。五回には二死二塁から扇の左前打で1点差まで迫ったが、その裏に小宮の本塁打などで点差を広げられた。

【審判】波多野健一ほか豊玉サンライズ4人

【巖原レパーズ】打安点球

⑥ 一宮 努	3 0 0 1
④ 志賀 慶二	2 0 0 0
⑨7 扇 裕二	3 2 1 0
⑧19 木屋 勝也	3 1 0 0
⑤ 内山 歩	3 0 0 0
③91 林田 芳和	3 1 0 0
② 松尾 吉範	3 0 0 0
①3 豊田 充	3 0 0 0
⑦7 阿比留新吾	3 0 0 0

犠1振5残5併0 26 4 1 1

【制覇クラブ】打安点球

⑥ 小宮 茂輝	2 2 1 2
⑦ 須川 栄作	1 1 1 1
4 斉藤 啓太	2 1 0 0
⑧ 日下部達也	3 0 0 0
H8 丸島 敦	1 0 0 0
① 三槻 伸也	3 0 1 0
⑤ 日下部智久	3 1 1 0
④7 岡部 洋平	3 0 0 0
③ 杉村 修一	3 0 0 0
② 糸瀬 慎吾	2 0 0 1
⑨ 高原 吉弘	3 1 1 0

犠0振2残6併0 26 6 5 4

巖②【二回戦】13:18～1時間25分

巖原マリナーズ	000 010 0	1
豊玉町野球部	000 000 0	0

好機に一打が出たマリナーズが、岩本の好投により1点差を守りきった。二回二死後に敵失と二盗の先制機を逸した巖原は四回にも先頭安打の鬼橋と投ゴ野選走者を犠打で進めた一死二三塁も後続なし。そして五回に先頭の岩本が右へ。犠打と三盗後に武本が中前に。これが決勝打となった。

岩本のピンチは二回。先頭の村瀬に中前打され二盗も許して無死二塁。ここで三盗を仕掛けた村瀬が捕手からの送球で三塁死した。三回以降は2四球走者を出したが何れも二死からで、1安打3四球4三振の投球内容だった。

【巖原マリナーズ】打安点球

⑧ 武本龍太郎	4 1 1 0
⑥ 鬼橋 佑介	2 1 0 1
③ 山代 毅	3 0 0 0
⑨ 神宮大司朗	2 0 0 0
② 白石 勝太	3 0 0 0
⑦ 黒岩 克成	3 0 0 0
① 岩本 一也	2 1 0 1
④ 福島 剛士	2 0 0 0
⑤ 立花 壮史	3 0 0 0

犠2振8残6併0 24 3 1 2

【豊玉町野球部】打安点球

⑤ 扇 祥喜	2 0 0 1
① 小島 洋平	2 0 0 1
④ 森田 将平	3 0 0 0
② 村瀬 裕亮	3 1 0 0
⑨ 長郷 健彦	2 0 0 1
⑦ 梅野 譲治	3 0 0 0
③ 阿比留慎太郎	2 0 0 0
⑧ 鶴元 将人	2 0 0 0
⑥ 中目 剛	2 0 0 0

犠0振4残3併0 21 1 0 3

【審判】神宮保夫ほか巖原ブラボー4名

巖③【二回戦】13:53～1時間51分

上対馬クラブ	001 003 0	4
巖原ビーンズ	103 001 X	5

巖原が8四死球やタイムリーな敵失にも恵まれて勝ち進んだ。初回四球と二盗後に三盗を試み敵失により生還し先制。三回は死球と2敵失走者が相手のミスや失策により還り苦も無く3点追加。四回に先頭の初安打から無死満塁の絶好機は捕邪飛に一→捕→一の併殺で逸した。結果的に決勝点となったのは六回一死後に投ゴ悪送球で二進の津野が、続く投ゴ悪送球で生還した。

上対馬は前試合で打線が好調だったが、三回敵失と死球の二死一二塁に辻の右適時打が初安打。五回は下位の板井、平出が連打し無死一二塁の好機を作ったが投飛で一死。辻が安打の満塁に投→捕→一の併殺で逸した。六回に武末、神宮の連打に敵失で満塁。二死後大浦の適時打を間に2個の四球押し出しで同点としたが3番梅野が三振で勝ち越せなかった。

【上対馬クラブ】打安点球

⑧ 大浦 英悟	3 1 1 1
③ 辻 将司	3 2 2 1
⑥ 梅野 英和	4 0 0 0
⑦2 小宮 憲司	4 0 0 0
② 梅野加寿人	2 0 0 0
5 武末 太	2 1 0 0
④ 神宮 仁	4 1 0 0
⑤7 武末 修一	3 0 0 0
⑨ 板井 俊哉	3 1 0 0
① 平出 大輔	2 1 1 1

犠0振2残5併1 30 7 4 3

【巖原ビーンズ】打安点球

⑧ 津野 裕二	4 0 0 0
⑥ 豊永 昌平	2 0 0 2
② 森山 宏典	3 0 0 1
③ 小田 剣生	3 0 0 1
⑦ 川崎 貴夫	2 0 0 0
H 山口 大吾	1 0 0 0
7 作元 功照	0 0 0 0
⑨ 梅野 直樹	2 0 0 1
⑤ 勝見 卓也	1 1 0 2
④ 松本 拓之	2 0 0 0
① 阿比留祐一	2 0 0 1

犠1振1残8併1 22 1 0 8

【審判】宮原大輔ほか巖原マリナーズ4名

美③【二回戦】13:31～1時間27分

上対馬メッツ	000 000 0	0
美津島ポパイ	000 110 X	2

【二】小島圭

小島勝、波田

ポパイの中尾が無四球でメッツを完封した。走者を得点圏に進めたのは五回に河本と中村に安打された一死二三塁。ここは浅い中飛と三邪飛に仕留め、六回の小島圭の左中間二塁打も二死後で4番の米田を投飛に討ち取った二度だけ。

先週の西日本2部県大会(島原)で無得点敗戦のポパイ打線は四回二死後に小島勝と波田の連続二塁打で1点。五回には敵失から2本の内野安打の無死満塁が三振と一邪飛で二死となり、中尾が粘って四球押し出しの追加点を挙げた。

【審判】糸瀬明ほか制覇クラブ4名

【上対馬メッツ】打安点球

⑨ 板井 将之	3 0 0 0
④ 米田 周市	2 0 0 0
4 平間 友則	1 0 0 0
⑥ 小島 圭祐	3 1 0 0
⑤ 米田 宏之	3 0 0 0
③ 河本 法満	3 1 0 0
② 扇 則昭	3 1 0 0
① 中村 朝輝	3 1 0 0
⑦ 松村 克広	3 0 0 0
⑧ 岡田 司	2 0 0 0

犠0振5残5併1 26 4 0 0

【美津島ポパイ】打安点球

⑦ 田口 憲一	3 1 0 0
⑥ 田中 健一	3 0 0 0
⑧ 小島 一輝	3 0 0 0
① 中尾 寿憲	1 0 1 2
③ 小島 勝也	3 1 0 0
② 波田 正嗣	2 1 1 1
⑨ 田口 功二	3 0 0 0
⑤ 西川 典夫	3 0 0 0
④ 嶺 桂太	3 1 0 0

犠0振5残7併0 24 4 2 3

【準決勝①】09:55～1時間27分

制覇クラブ	210 000 5	8	【二】丸島
巖原マリナーズ	000 000 0	0	

創部(H10年)以来15年間で9度の天皇賜杯県大会に出場し、4年連続で対馬予選会を制した巖原マリナーズが、創部(H.17年)8年目で初の天皇賜杯県大会を目指す制覇クラブに完敗した。

制覇クは初回敵失と三槻の安打に死球の二死満塁に日下部智の2点左前打で先制。二回には四球(二盗)後に内野ゴロ悪送球で加点した。最終の七回には代わった白石の制球難に5四死球を得、押し出しに丸島の満塁走者一掃の右中間二塁打などでダメ押しの5点を挙げた。

マリナーズは三回に2安打を放ったが後続が無く、制覇クの2投手の継投に封じられた。

【制覇クラブ】打安点球			巖原マリナーズ打安点球		
⑥小宮 茂輝	4	1 0 1	⑧2 武本龍太郎	3	1 0 0
⑦須川 栄作	3	0 0 1	⑥ 鬼橋 佑介	3	0 0 0
⑧日下部達也	3	1 0 1	②1 白石 勝太	3	0 0 0
⑤三槻 伸也	4	2 0 0	⑦18 岩本 一也	1	0 0 2
③縫田 幸広	2	1 0 2	⑤ 黒岩 克成	3	0 0 0
④1 日下部智久	3	1 3 1	④ 福島 剛士	3	0 0 0
②糸瀬 慎吾	3	0 0 1	⑨ 石崎 博己	2	0 0 1
⑨ 高原 吉弘	2	0 0 0	①7 山代 毅	2	1 0 0
9 丸島 敦	2	1 3 0	③ 横松 修	2	0 0 0
犠0振3残8併0	29	7 7 8	犠0振3残4併0	22	2 0 3

【審判】山崎、中島重、長岡亮、永留佳

【準決勝②】11:38～1時間44分

美津島ポパイ	010 010 1	3	【二】寺谷、黒岩、中尾、小田
巖原ビーンズ	104 000 X	5	

巖原ビーンズが逃げ切った。初回敵失から一死三塁の好機に小田の左前打で先制の巖原は、三回も敵失を足場に豊永、小田の連続適時短長打に、松本の2点打などで4点を加えた。

同点とした二回的美津島ポパイは寺谷と黒岩が二塁打。三回には2安打1死球の一死満塁に寺谷の浅い右飛と一飛で勝ち越せず、逆にその裏に4失点した。四回にも四球から嶺、西川の連打で一死満塁に上位が連続三振で逸する。五回は寺谷の安打と敵失に四球の一死満塁は黒岩の内野ゴロの間の1点のみ。六回先頭安打も併殺で潰し、七回に四球と中尾が二塁打の一死二三塁も小島の遊ゴロー塁送球の間に挙げた点のみで、粘投の阿比留に完投を許し10残塁を喫した。

【美津島ポパイ】打安点球			【巖原ビーンズ】打安点球		
⑧ 田口 憲一	4	0 0 0	⑧ 津野 裕二	3	0 0 0
⑦ 田口 功二	4	1 0 0	② 豊永 昌平	2	1 1 0
⑥ 村瀬 恵二	2	0 0 2	⑥ 小田 剣生	3	2 2 0
⑤1 寺谷 威	4	2 0 0	③ 作元 功照	3	0 0 0
①5 中尾 寿憲	3	1 0 0	⑤ 勝見 卓也	2	0 0 1
⑨3 小島 勝也	2	0 1 2	④ 松本 拓之	3	2 2 0
② 黒岩 隆樹	4	1 2 0	⑨ 梅野 直樹	2	0 0 0
④9 嶺 桂太	3	1 0 0	9 齊藤	1	0 0 0
③4 西川 典夫	3	3 0 0	⑦ 川崎 貴夫	3	1 0 0
犠1振6残10併0	29	9 3 4	① 阿比留祐一	2	0 0 0
			犠1振3残3併1	24	6 5 1

【審判】増田、上松、築城公、梅野譲

【準決勝③】13:38～1時間15分

巖原ビーンズ	000 000 2	2	【三】豊永、日下部達
制覇クラブ	000 040 X	4	

四回を終わって双方の得点機は一度ずつ。三回丸島が安打と二盗の一死二塁に上位が凡退の制覇に対し、ビーンズは四回先頭の豊永が左中間三塁打。一死後に小田の中飛で本塁を突いたが日下部達からの好返球で憤死した。

五回の制覇は二死から糸瀬が安打。二盗後に丸島の当たりはショート後方。これをグラブに当てて失する間に先取点を挙げると二盗の丸島を小宮が右前打で還し、齊藤も中前打で続いて日下部達左中間に2点三塁打とたたみ掛け一挙4点を奪った。

制覇は七回から高原が登板。5四死球を与え暴投と押し出しの2点を献上したが今季2大会目の予選会突破で、高松宮賜杯1部県大会(6/26～)に続いて天皇賜杯県大会の初出場を決めた。

【審判】吉野、梅野譲、津屋敏、阿比留洋

【巖原ビーンズ】打安点球			【制覇クラブ】打安点球		
⑧ 津野 裕二	4	0 0 0	⑥ 小宮 茂輝	3	1 1 0
② 豊永 昌平	3	1 0 0	⑦ 齊藤 啓太	3	1 0 0
⑤ 勝見 卓也	2	0 0 1	⑧ 日下部達也	3	1 2 0
⑥ 小田 剣生	2	0 0 1	⑤ 三槻 伸也	3	0 0 0
⑦ 川崎 貴夫	2	0 0 1	③ 縫田 幸広	2	0 0 0
④ 松本 拓之	3	0 0 0	3 須川 栄作	1	0 0 0
③ 作元 功照	2	0 0 1	④ 日下部智久	2	0 0 1
⑨ 西山 雅美	1	0 0 0	① 杉村 修一	2	0 0 0
H 山口 大吾	1	0 0 0	1 高原 吉弘	1	0 0 0
9 梅野 直樹	0	0 0 1	② 糸瀬 慎吾	2	1 0 0
① 阿比留祐一	1	0 1 2	⑨ 丸島 敦	2	1 0 0
犠0振4残5併0	21	1 1 7	犠0振2残3併1	24	5 3 1



制覇クラブの県大会での戦績

17年 高松宮杯2部	2-3	ブルーエンゼル(大村)
18年 高松宮杯2部	不参加(辞退)	
19年 国体一般B	5-6	西海クラブ(佐世保)
選手権大会	0-2	親和銀行
県民体育大会	1-2	新上五島町
20年	(参加なし)	
21年 西日本1部	6-2	佐世保市役所
	0-2	長崎市役所
県民体育大会	0-6	富江クラブ(五島)
22年	(参加なし)	
23年 高松宮杯1部	0-7	株南原(大村)

天皇賜杯対馬予選会の決勝戦戦績と、県大会(平成5年～19年の間は2チーム参加)での戦績

昭和61年より対馬予選会(6町代表対抗戦)が始まる		県大会での戦績	
61年	上 対 馬 ク ラ ブ 9-1 厳 原 海 王	棄権	電通ユニオンズ(老岐)
62年	豊 玉 ク ラ ブ 5-3 美 津 島 ポ パ イ	1-4	海自造修所(佐世保)
63年	厳 原 ワ イ ズ 5-2 上 対 馬 ク ラ ブ	0-9	親和銀行(佐世保)
元年	〃 2-1 佐 護 リ バ ー ス	1-0	菊池病院(松浦) 降雨順延を棄権 対:県経済連(長崎)
2年	美津島マーシャルズ 3-0 厳 原 ワ イ ズ	3-0	福江球友会 2-1 佐世保市水道局
		4-2	小浜クラブ(南高) 【決】 7-0 親和銀行
3年	厳 原 ワ イ ズ 7-3 美 津 島 ポ パ イ	7-3	中村クラブ(大村) 2-6 県共済連(長崎)
4年	豊 玉 町 野 球 部 2-0 〃	1-0	JA福江 7-3 奈良尾ク(上五島) 【準】 0-6 轟ク(北高)
平成5年より6町8チームの予選会とし、県大会に2チーム(県連登録20チーム以上により)参加となる			
5年	上 対 馬 ラ イ オ ン ズ 9-4 峰 フ ァ イ タ ー ズ 県: 2-6 JA長崎共済連(長崎)	5年	美 津 島 ポ パ イ 2-0 上 県 佐 護 リ バ ー ス 県: 0-5 佐世保市役所
6年	厳 原 ワ イ ズ 6-1 上 対 馬 メ ッ ツ 県: 4-6 佐世保クラブ	6年	美津島マーシャルズ 3-0 厳 原 レ パ ー ズ 県: 3-4 生月体協(県北)
7年	厳 原 ワ イ ズ 4-0 厳 原 シ ー ガ ル ス 県: 1-3 佐世保クラブ	7年	豊 玉 町 野 球 部 4-0 峰 フ ァ イ タ ー ズ 県: 0-2 国見野球クラブ(南高)
8年	豊 玉 町 野 球 部 1-0 上 対 馬 ク ラ ブ 上対馬クラブが代理出場 5-6 舛田グループ(上五島)	8年	上 対 馬 メ ッ ツ 2-1 大 洋 真 珠 ク ラ ブ ★上対馬大会直前に集団食中毒で県大会を棄権
9年	厳 原 レ パ ー ズ 7-1 上 県 佐 護 リ バ ー ス 県: 6-2 西海棒球団(西彼) 2-4 ソニー長崎(諫早)	9年	峰 フ ァ イ タ ー ズ 4-2 豊 玉 サ ン ラ イ ズ 県: 0-4 ヨシスポーツ(諫早)
10年	県大会が対馬開催で開催地特別により、4チームが参加	上対馬クラブ 9-3 アリアケジャパン(県北) 6-2 島原市役所第三野球部 1-5 アイケン医院 厳原マリナーズ 9-2 国見野球クラブ(南高) 0-5 三菱重工長崎 美津島ボパイ 6-4 石田ジャガーズ 2-3 西部ガス(長崎) 豊玉町野球部 3-1 平戸クラブ 1-10 佐世保クラブ	
11年	豊 玉 町 野 球 部 5-2 厳 原 マ リ ナ ー ズ 県: 1-0 千々石町体協(南高) 2-4 舛田グループ(上五島)	11年	美津島マーシャルズ 3-2 大 洋 真 珠 ク ラ ブ 県: 0-2 諫早信用金庫
12年	上 対 馬 ク ラ ブ 7-0 上 対 馬 メ ッ ツ 県: 0-7 西海棒球団(西彼)	12年	峰 フ ァ イ タ ー ズ 3-1 豊 玉 町 野 球 部 県: 2-11 福江球友会
13年	厳 原 マ リ ナ ー ズ 3-2 上 対 馬 メ ッ ツ 県: 2-0 国見クラブ(南高) 0-12 アイケン医院(佐世保)	13年	厳 原 レ パ ー ズ 1-0 豊 玉 町 野 球 部 美津島ホークスが代理出場 0-13 大村市役所
14年	厳 原 マ リ ナ ー ズ 2-1 美 津 島 マ ー シ ャ ル ズ 県: 0-7 アイケン医院(佐世保)	14年	美 津 島 ク ラ ブ 4-2 厳 原 フ ァ イ タ ー ズ 県: 0-4 全田平(県北)
15年	厳 原 レ パ ー ズ 5-0 厳 原 フ ァ イ タ ー ズ 県: 0-4 三菱重工長崎	15年	上 県 ア ス レ チ ッ ク ス 3-2 上 対 馬 メ ッ ツ 県: (雨天順延棄権)福江ドリームスター
16年	上 対 馬 メ ッ ツ 1-0 厳 原 マ リ ナ ー ズ 県: 0-6 親和銀行	16年	厳 原 ブ ラ ッ ク タ イ ガ ー ス 2-0 厳 原 レ パ ー ズ 県: 1-6 たちばな信用金庫(諫早)
17年	厳 原 マ リ ナ ー ズ 6-5 厳 原 N Y ビ ー ン ズ 厳原ビーンズが代理出場 2-8 三菱重工長崎	17年	厳 原 フ ァ イ タ ー ズ 1-0 制 覇 ク ラ ブ 県: 5-4 上五島クラブ 0-8 ソニー九州(諫早)
18年	厳 原 マ リ ナ ー ズ 9-0 制 覇 ク ラ ブ 県: 11-3 有明町クラブ(島原) 0-2 ソニー九州(諫早)	18年	上 対 馬 ク ラ ブ 2-1 厳 原 N Y ビ ー ン ズ 県: 1-3 西有家クラブ(県南)
平成19年は全登録16チーム参加で2ブロックの予選会を行ない、県大会に2チームが参加となる			
19年	厳 原 マ リ ナ ー ズ 9-2 厳 原 フ ァ イ タ ー ズ 県: 0-10 親和銀行	19年	上 対 馬 メ ッ ツ 4-2 美 津 島 マ ー シ ャ ル ズ 県: 3-4 平戸クラブ
平成20年より、県大会には1チーム参加となる		県大会での戦績	
20年	厳 原 マ リ ナ ー ズ 3-1 上 対 馬 ク ラ ブ	1-2	島原市役所
21年	〃 8-5 豊 玉 サ ン ラ イ ズ	6-8	アイケン医院(佐世保)
22年	〃 7-3 豊 玉 町 野 球 部	1-6	三菱重工長崎
23年	〃 7-0 豊 玉 サ ン ラ イ ズ	2-3	舛田グループ(上五島)
24年	制 覇 ク ラ ブ 4-2 厳 原 ビ ー ン ズ		